

款 8 土木費

項 1 土木管理費

目 1 土木総務費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
921,958,000 円	914,526,979 円		7,431,021 円

〔一般職給〕	89人	727,078,500 円 (県支出金 2,940,000 円)
		(その他特財 41,346,843 円)
〔再任用職給〕	4人	10,466,561 円
〔嘱託職給〕	1人	2,902,925 円

(都市計画課)

〔白地地域基礎調査費〕	533,400 円 (国庫支出金 163,000 円)
〔委員報酬〕	65,200 円
・建築紛争調停委員会委員 6人	
〔建築紛争あっせん調停事務費〕	4,440 円

(建築開発課)

目的	建築基準法・都市計画法等に基づき建築物の安全及び良好な住環境を図る				
指標	完了検査率	目標	85%	実績	85%
					(14年度 82%)
説明	完了検査率の向上が建築物の安全性の確保及び違反建築物の防止に資する観点から、重要な課題と捉えて建築主への普及啓発に努め、最終目標は100%であるが平成15年度は85%の目標と定め、取り組みました。				

〔建築指導事務費〕	3,201,024 円 (その他特財 3,201,024 円)
〔委員報酬〕	81,000 円
・建築審査会委員 7人	

建築確認済証交付件数及び完了検査済証交付件数

	建築物	昇降機	工作物
建築確認済証交付件数	1,418 件 (1,836 件)	28 件 (40 件)	90 件 (98 件)
完了検査済証交付件数	1,204 件 (1,449 件)	23 件 (52 件)	84 件 (112 件)

民間確認検査機関の建築確認済証交付件数及び完了検査済証交付件数

	建築物	昇降機	工作物
建築確認済証交付件数	403 件 (77 件)	7 件 (3 件)	2 件 (0 件)
完了検査済証交付件数	264 件 (42 件)	6 件 (3 件)	1 件 (0 件)

完了検査率

	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度
四日市市	55%	56%	70%	82%	85%
全国平均	43%	53%	59%	62%	-

三重県バリアフリーのまちづくり推進条例に基づく協議件数	60件 (60件)
中高層建築物等の建築に係る紛争と調整に基づく届出件数	65件 (52件)
建設リサイクル法に係る届出件数	738件 (519件)

目的	安全な生活空間の確保				
指標	定期報告率	目標	78.0%	実績	75.7% (14年度 77.9%)
説明	<p>多数の人々が利用するような用途及び規模の建築物を常時適法な状態に保ち安全性を確保するためには、維持保全が適正に行われる必要があります。建築物の管理者、所有者へこれらの状態を定期的に報告を求め、保全の指導を行いました。</p> <p>しかし、督促及び再督促にも関わらず経済状況を反映して定期報告の提出が減り、目標値を達成できませんでした。定期報告制度の重要性について講演会、キャンペーン等さまざまな機会を捉えて広く啓発に努めます。</p>				

〔建築指導事務費〕 421,867円 (その他特財 421,867円)

建築物等の定期報告率

	14年度	15年度
四日市市	77.9%	75.7%
全国平均	74.8%	-

既存木造住宅無料耐震診断件数	701件 (-)
耐震促進法による耐震改修計画の認定	25件 (15件)
違反パトロールの実施 (建築、開発)	100回 (19回)
既存建築物の防災査察 (消防、警察、医療関係)	85件 (113件)

目的	建築・開発などに関する情報提供				
指標	メディア等による周知	目標	3回	実績	6回 (14年度 2回)
説明	<p>広く市民への防災意識の浸透を図るため、建築防災週間に合わせてFMよっかいち等を通じて防災キャンペーンを行う。と同時に、防災意識の向上をテーマに講演会を開催しました。</p> <p>市民の建築に関する相談や質問に応じ、建築物等に関する関心や理解を促す市民相談と建築業者等に対しても建築専門相談や講習会を行いました。</p>				

〔建築指導事務費〕 156,190円 (その他特財 156,190円)

防災キャンペーンの実施	2回 (1回)
建築一般相談	月2回 43件 (月2回 24件)
建築専門相談	65件 (74件)

その他経費

〔全国建築審査会協議会等負担金〕 664,000円 (その他特財 664,000円)
・全国建築審査会協議会負担金等

(市街地整備課)

〔狭あい道路対策費〕 114,939,699円

狭あい道路後退用地整備事業実績

区 分	寄 付	舗装等の整備	助成金の交付	件 数
件数(件)	147件	125件	測量分筆登記	141件
延長(m)	2,532m	2,287m	支障物件除去	82件
面積(m ²)	1,621m ²	1,836m ²		

(用地課)

目的	未登記道路・水路の解消				
指標	処理件数	目標	125筆	実績	126筆 (14年度 111筆)
説明	未登記道路・水路を解消するための調査・測量・分筆を行い、権原の取得と所有権移転登記を行った結果、126筆の未登記土地が解消されました。				

〔未登記道路調査事業費〕 24,341,512円

目的	法定外公共物の譲与申請				
指標	譲与地区数	目標	11地区	実績	11地区 (14年度 6地区)
説明	市内11地区の法定外公共物について譲与が完了し、合計19地区の譲与が完了しました。また、新規4地区について機能判定及び特定作業を行いました。				

〔法定外公共物等特定事業費〕 12,622,501円

(営繕工務課)

目的	安全で使いやすい公共建築物等を提供する				
指標	工事完成後、概ね1年間における不具合発生率	目標	0%	実績	1% (14年度 -)
説明	各部から依頼された公共建築物の新築、増築、改修並びに設備更新工事の設計、工事の監督を行いました。当該業務を行うに際しては、安全確保はもちろんのこと、コスト縮減、環境負荷の低減に配慮するとともに、バリアフリー化に努めました。なお、15年度から一定規模以上の工事について、完成後概ね1年後の現場調査及び聞き取り調査により不具合部分等を把握して今後の業務に活かしていくこととしました。これに伴い、指標・目標は従前の依頼件数・適正処理から上記のように改めました。				

〔営繕事務費〕 5,065,527円

〔公共建築協会等負担金〕 254,775円

営繕受託業務の状況

区 分	主 な 工 事	計
総務・市民関係施設	市庁舎 IT 推進課パッケージエアコン更新工事 総合会館防災拠点施設整備工事 富田地区市民センター耐震補強工事	10件
保健福祉関係施設	海蔵保育園新築工事 障害者福祉センター赤外線補聴システム設置工事	11件
環境関係施設	小山2号線道路改良工事	3件
商工農水関係施設	食肉センター冷蔵機械設備更新工事 競輪場ドリームスペース・南休憩所改修工事 北勢公設地方卸売市場改修工事	21件
都市整備関係施設	坂部が丘市営住宅屋根葺替工事 あさけが丘市営住宅電気容量改良工事	7件
下水道関係施設	雨池ポンプ場資材倉庫築造工事	5件
消防関係施設	中消防署港分署改修工事 富田三丁目耐震性貯水槽設置工事	6件
教育関係施設	内部東小学校増築工事	57件

	常磐西小学校増築工事 水沢小学校耐震補強工事 八郷小学校改築工事 塩浜中学校耐震補強工事 中央緑地陸上競技場整備工事	
合 計		120件

項2 道路橋梁費

目1 道路橋梁総務費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
310,752,250 円	309,192,730 円		1,559,520 円

(管理課)

〔明許繰越〕

〔道路台帳整備事業費〕 52,505,250 円
道路管理の一環として、道路の状況を把握するため道路現況平面図の修正を行うとともに、デジタル化に着手しました。

〔一般職給〕 19人 143,156,000 円

(都市計画課)

目的	広域幹線道路の整備促進				
指標	広域幹線道路の整備状況	目標	早期整備	実績	国道477号バイパス進捗率 51% (14年度 45%)
説明	第二名神高速道路、東海環状自動車道及び国道1号北勢バイパス並びに国道477号等の整備促進を図るため、各期成同盟会による国、県、関係機関への要望や啓発イベントを行うとともに、各事業路線の事業進捗のため、地元・関係機関と事業調整を行いました。実績は国道477号バイパスを代表としました。				

路線名	14年度進捗率(進捗状況)	15年度進捗率(進捗状況)
第二名神高速道路	みえ川越IC～四日市JCT間開通	四日市JCT～亀山間整備促進要望 (三幹協で要望を行うとともに、 経済・市民団体と連携を図った)
国道1号北勢バイパス	第二名神高速道路併走区間(国道23号～みえ朝日IC)開通	富田山城線～国道477号バイパス間の調査・設計に着手
富田山城線	73%	85%
国道477号バイパス	45%	51%

〔負担金〕

- ・三重県北勢地域幹線道路事業促進連絡協議会 1,575,000 円
- ・国道477号(四日市～竜王間)整備促進期成同盟会 150,000 円
- ・日本道路協会等負担金 1,482,000 円
- ・広域基幹道路整備基金積立金 95,058 円(その他特財 95,058 円)

その他経費

〔土木積算システム業務費〕 22,255,508 円(その他特財 12,098,947 円)

(公園・河川課)

〔負担金〕 149,000 円

- ・三重県防災協会等負担金

(管理課)

〔道路台帳整備事業費〕

58,010,400 円

(用地課)

目的	道路・河川・水路等の境界査定				
指標	処理件数	目標	1000 件	実績	886 件、27 日
	待ち時間		28 日		(14 年度 854 件、31 日)
説明	市が管理する道路・河川・水路（官地）と、それに接した土地（民地）との境界線について、現地で立会いを行い確認しました。この申請から立会いまでの待ち時間を目標よりさらに一日短縮しました。				

〔境界査定事業費〕

4,165,864 円

その他経費

〔負担金〕

213,000 円

・用地対策連絡協議会等負担金

目 2 道路維持費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
361,418,000 円	357,959,234 円		3,458,766 円

〔一般職給〕 14 人 107,702,183 円

〔再任用職給〕 1 人 3,421,052 円

〔嘱託職給〕 1 人 3,179,765 円

(道路整備課)

目的	適切な維持管理				
指標	発見当日の道路損傷の修復率	目標	100%	実績	100%
					(14 年度 100%)
説明	通行の安全性と円滑な道路環境の維持を図りました。道路パトロール班の日常点検により、ポットホール等の路面損傷箇所の早期発見と早期補修に努めました。				

〔道路路面清掃費〕 5,799,150 円

〔道路雪氷対策費〕 10,971,555 円

〔道路維持修繕費〕 118,714,375 円

〔工事用材料費〕 19,053,826 円

〔道路補修費〕 60,942,130 円 (その他特財 687,914 円)

〔補修用材料費〕 18,345,441 円

目 3 道路新設改良費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,944,030,000 円	1,636,278,538 円	305,945,000 円	1,806,462 円

(道路整備課)

〔明許繰越〕

244,027,000 円

〔臨時交付金事業〕

22,980,000 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・大鐘19号線 (伊坂町地内)	工事費 L=220.0m W=11.0m 法面工 A=520 m ² 小型水路工 L=630 m 舗装工 A=2,520 m ² 平成15年度臨時交付金事業と合併施工事務費	22,980,000	国庫支出金 市 債	12,639,000 10,300,000

〔地方特定道路整備事業〕

93,918,000 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・山村平津線 (平津町及び山分町地内)	工事費 L=74.7m W=4.0~6.0m 橋台工 N=1 基 側道橋上部・下部工 1式 水路改良工 L=38.0m 事務費	29,940,000	市 債	26,900,000
・阿倉川西富田線 (別名五丁目及び六丁目地内)	工事費 L=176.8m W=16.0m 排水工 L=332.1 m 舗装工 A=2,273 m ² 用地費 A=31.33 m ² 補償費 物件移転補償 2件 事務費	38,000,000	市 債	34,200,000
・西富田3号線 (西富田町地内)	補償費 物件移転補償 1件	25,978,000	市 債	23,400,000
地方特定道路整備事業 計		93,918,000		84,500,000

〔道路新設改良単独事業〕

6,361,000 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・小山田川島線 (小山町及び智積町地内)	用地費 A=290.82 m ² 補償費 物件移転補償 4件 事務費	6,361,000	市 債	6,300,000

〔渋滞対策事業〕

92,204,000 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・六地蔵中川原線 (鷗の森二丁目及び 城北町地内)	工事費 L=45.4m W=9.0m 函渠工(B900×H600) L=42.2 m 集水枘工 N=1 箇所 用地費 A=292.18 m ² 補償費 物件移転補償 4 件 事務費	85,014,000	市 債	92,200,000
・山村平津線 (平津町及び 山分町地内)	工事費 地方特定道路整備 事業と合併施工 事務費	4,200,000		
・横川 (川島町地内)	工事費 準用河川河川改修 事業と合併施工	2,990,000		
渋滞対策事業 計		92,204,000		92,200,000

〔道路新設改良単独事業〕

16,207,000 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・垂坂49号線 (垂坂町地内)	用地費 A=501.45 m ² 補償費 物件移転補償 3 件 事務費	16,207,000	市 債	16,200,000

〔渋滞対策事業〕

7,107,000 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・近鉄・三岐富田駅 西広場整備事業 (富田四丁目地内)	用地費 A=56.86 m ²	7,107,000	市 債	7,100,000

〔道路再舗装工事〕

5,250,000 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
〔幹線〕 ・神前桜線 (桜台一丁目 外1町地内)	工事費 L=150.0m W=7.0m 舗装工 A=1,230 m ²	5,250,000		

(都市計画課)

〔バス乗車待ち改善モデル事業〕

2,990,400 円

(道路整備課)

目的	幹線街路及び市内幹線道路の整備				
指標	市内幹線道路の整備率	目標	74.7%	実績	72.4% (14年度 64.3%)
説明	快適な市民生活及び円滑な経済活動が行えるよう、市内幹線道路ネットワークを体系的に構築するため、現在実施中の小杉52号線、阿倉川西富田線等の早期整備に努めました。中でも小杉52号線は平成15年度に橋梁上部工を施工し、年度内に供用開始しました。実績は国補事業、地方特定道路整備事業の平均進捗率としました。				

〔臨時交付金事業〕

406,080,000 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・山村平津線 (平津町及び 山分町地内)	委託料 測量地質調査 1式 橋梁予備設計 1式 道路詳細設計 L=450m 工事費 橋脚工 N= 1基 排水工 L=62m 橋梁上部 (3径間連続鋼床版 桁) 工場製作工 1式 原材料 高欄購入(H=1000) L=129.5m 落下物防止柵付高欄 (H=2000)L=80.1m他 補償費 中部電力電柱移転 補償 1件 事務費 (一部平成15年度 明許繰越)	121,180,000	国庫支出金 市 債	223,344,000 182,600,000
・大鐘19号線 (伊坂町地内)	工事費 L=220.0m W=11.0m 法面工 A=520㎡ 小型水路工 L=630m 舗装工 A=2,520㎡ 平成14年度繰越臨 時交付金事業と合併 施工 事務費	13,400,000		
・小杉52号線 (小杉町地内)	工事費 L=116.0m W=16.0m 桁製作工 (3径間連続非合成 鋼桁) 1式 橋梁上部工(架設) L=116.0m 事務費	271,500,000		
臨時交付金事業 計		406,080,000		405,944,000

〔地方特定道路整備事業〕

270,960,000 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・阿倉川西富田線 (別名五丁目地内)	工事費 L=67.5m W=16.0m 排水工 L=233.5 m 付帯工 1 式 舗装工 A=826 m ² 事務費 (一部平成 15 年度 明許繰越)	7,840,000	市 債	243,700,000
・部田川左岸 2 号線 (小杉町地内)	工事費 L=512.6m W=8.0~11.0m ブロック積工 A=295.3 m ² 舗装工 A=4,483 m ² 側溝工 L=306.0 m 市単独事業(渋滞 対策)と合併施工 事務費	36,100,000		
・西富田 3 号線 (富田栄町地内)	用地費 A=579.40 m ² 補償費 物件移転補償 4 件 事務費 (一部平成 15 年度 明許繰越)	119,920,000		
・大矢知富田線 (大矢知町地内)	委託料 建物調査業務 2 棟他 用地費 A=339.53 m ² 補償費 物件移転補償 5 件 事務費	107,100,000		
地方特定道路整備事業 計		270,960,000		243,700,000

〔県営事業負担金〕

12,147,800 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
〔単独〕 ・国道 477 号線 外 2 線	負担金	12,147,800		

〔公社健全化事業〕

250,120 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・新開橋整備事業 用地取得事業	用地費 特別会計繰出金	250,120		

目的	生活道路の整備				
指標	主要路線の平均進捗率	目標	67.8%	実績	66.2% (14年度 47.5%)
説明	地域からの要望に少しでも応えることにより、道路が良くなっていると実感できるみちづくりに取り組んでいます。平成15年度は水沢野田1号線、桜町西15号線外、小山田川島線等の事業の進捗率の向上に努めました。水沢野田1号線、桜町西15号線外、西村小牧線は完了しました。実績は水沢野田1号線、小山田川島線の平均進捗率としました。				

〔道路新設改良単独事業〕

167,848,174 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・水沢野田1号線 (水沢野田町地内)	委託料 用地測量業務 工事費 L=209.1m W=5.45m 舗装工 A=653 m ² 排水工 L=220 m 付帯工 1式	11,272,800	市 債	11,200,000
・桜町西15号線外 (桜町及び 水沢町地内)	委託料 測量設計業務 工事費 L=1365.0m W=5.0~8.4m 排水工 L=367.3 m 舗装工 A=6,256 m ² 付帯工 1式	24,116,400	市 債	24,100,000
・大矢知23号線 (大矢知町地内)	委託料 登記業務 工事費 L=70.5m W=4.0m 小型水路工 L=75.5 m 集水枡工 N=1箇所 路盤工 A=254 m ²	4,617,276	市 債	4,600,000
・西村小牧線 (小牧町北地内)	委託料 測量設計境界標設置 業務 工事費 L=57.0m W=6.0m ブロック積工 A=164 m ² 補強土壁工 A=35 m ² 舗装工 A=320 m ²	9,444,750	市 債	9,400,000

・小山田川島線 (川島町地内)	委託料 調査登記測量業務 工事費 L=360.5m W=9.77m 側溝工 L=567.6 m 街渠工 L=319.4 m 舗装工 A=2,963 m ² 用地費 A=43.61 m ² 補償費 物件移転補償 1件 中部電力電柱移転 補償 1件	37,656,585	市 債	37,600,000
・市内一円	委託料・使用料 工事費・原材料 用地費・補償費 事務費 (一部平成15年度 明許繰越)	80,740,363	市 債	4,000,000
道路新設改良単独事業 計		167,848,174		90,900,000

〔道路局部改良事業〕

51,882,060 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・東日野24号線外 (市内一円)	委託料・工事費 補償費	51,882,060		

〔道路舗装新設事業〕

18,617,550 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・東坂部38号線外 (市内一円)	工事費 15件	18,617,550		

〔高速道路関連事業〕

31,980,000 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・千代田山分線 (千代田町地内)	工事費 L=190.0m W=3.0~6.0m 舗装工・擁壁工・排水 工 1式 事務費	19,845,000	県支出金	10,660,000
・千代田22号線 (千代田町地内)	委託料 測量登記業務 用地費 A=419.85 m ² 事務費	8,445,000		

・伊坂町排水路 (伊坂町地内)	委託料 測量登記業務 工事費 排水工 1式 事務費 (一部平成15年度 明許繰越)	3,690,000		
高速道路関連事業 計		31,980,000		10,660,000

〔生活密着道路整備事業〕 7,684,950 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・下ノ宮1号線外 (市内一円)	工事費 2件 狭隘道路拡幅	7,684,950		

目的	市内渋滞ポイントの解消			
指標	主要路線の平均進 捗率	目標	94.9%	実績
				85.8% (14年度 30.9%)
説明	著しく増大する交通量に対し、交差点部及び狭小区間の改良、バイパス道路の整備を行うことにより交通量の分散を図り、渋滞の解消に努めました。実績は小杉30号線、小杉34号線、六地蔵中川原線、垂阪49号線の平均進捗率としました。			

〔渋滞対策事業〕 144,011,821 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・六地蔵中川原線 (鷺の森二丁目地内)	委託料 工作物調査業務 調査登記測量業務 工事費 平成14年度繰越 渋滞対策事業と合 併施工 補償費 物件移転補償 1件 (一部平成15年度 明許繰越)	6,181,452	市 債	6,100,000
・垂阪49号線 (垂坂町地内)	委託料 登記業務 工事費 L=250.0m W=10.25m 排水工 L=432.0m 舗装工 A=2,760 m ² ブロック積工 A=544.8 m ²	51,779,640	市 債	51,700,000
・小杉30号線 (小杉町地内)	委託料 調査登記測量業務 工事費 地方特定道路整備事 業(部田川左岸2号	25,040,140	市 債	25,000,000

	線)と合併施工 用地費 A=65.85 m ²			
・西新地久保田線 (久保田二丁目地内)	委託料 道路設計業務 工事費 L=173.0m W=13.7m 舗装工 A=2,980 m ² 区画線工 1式	17,738,700	市 債	17,700,000
・市内一円	委託料・工事費 用地費・補償費 事務費 (一部平成15年度 明許繰越)	43,271,889		
渋滞対策事業 計		144,011,821		100,500,000

目的	交通結節点整備				
指標	近鉄富田駅西広場 進捗率	目標	11.3%	実績	5.4% (14年度 3.5%)
説明	道路ネットワークの整備を図るとともに、自動車や自転車からの乗換拠点となる主要な鉄道駅に自転車駐輪場、パーク&ライド駐車場の整備を行い、交通容量の分散を図りました。この手法は渋滞緩和対策に有効であることから強く推進します。				

〔渋滞対策事業〕 7,665,000 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・近鉄・三岐富田駅 西広場整備事業 (富田四丁目地内)	委託料 建物調査業務 (一部平成15年度 明許繰越)	7,665,000		

目的	安心して通れる歩行空間づくり				
指標	快適に歩ける道路 の整備延長	目標	370 m	実績	370 m (14年度 616 m)
説明	環境整備事業につきましては、東海道を主な路線とした側溝や舗装工事により、安心して歩くことのできる歩行空間づくりを図りました。 実績は環境整備事業を代表としました。				

〔歩道整備事業〕 6,053,250 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・午起末永線外 (市内一円)	工事費 5件	6,053,250		

〔道路環境整備事業〕 23,285,450 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
----------------	------	-----	--------	--

・海蔵川諏訪線外 (市内一円)	工事費 6件	23,285,450		
--------------------	--------	------------	--	--

目的	適切な維持管理				
指標	道路瑕疵による事故件数	目標	14件未満	実績	17件 (14年度 21件)
説明	快適な通行と騒音振動を抑制するために、舗装及び側溝等の維持管理を行いました。				

〔石油交付金事業〕 21,925,050 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・日永八郷線 (ときわ四丁目 他5町地内)	工事費 L=570.0m 平均 W=7.6m 舗装工 A=4,320 m ² 区画線工 1式	21,925,050	県支出金	20,000,000

〔道路再舗装工事〕 76,007,830 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
〔一般〕 ・山田48号線外 (市内一円)	工事費 39件 事務費	50,732,830		
〔幹線〕 ・三重団地1号線外 (市内一円)	工事費 7件 事務費	25,275,000		
道路再舗装工事 計		76,007,830		

〔道路舗装付帯工事〕 127,381,865 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・曙17号線外 (市内一円)	工事費 77件 負担金 事務費	127,381,865		

〔主要路線事業進捗率〕

路線名	事業年度	進捗率
大鐘19号線(一期工事区間)	平成9年度～平成18年度	85.0%
小杉52号線	平成8年度～平成15年度	100.0%
阿倉川西富田線外3路線	平成9年度～平成16年度	90.0%
山村平津線(一期工事区間)	平成8年度～平成16年度	87.1%

(管理課)

〔近鉄赤堀駅北自転車駐車場整備事業〕 11,888,998 円

〔私道整備補助金〕 2,400,000 円

・西富田町地内外

目4 橋梁維持費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
18,400,000 円	18,399,150 円		850 円

目的	適切な維持管理				
指標	橋梁の修復箇所	目標	4 橋	実績	4 橋 (14 年度 12 橋)
説明	跨線橋のひび割れ落下防止の他、橋梁塗装工事等により橋梁施設の長期供用を図りました。				

〔橋梁修繕工事費〕 18,399,150 円

目5 橋梁新設改良費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
111,320,000 円	61,971,000 円	49,349,000 円	0 円

〔明許繰越〕 61,320,000 円

〔地方特定道路整備事業〕 61,320,000 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
〔地方特定道路〕 ・坂部が丘西坂部線 (西坂部町地内)	委託料 代官橋 (三重県委託) 事務費	61,320,000	市 債	55,100,000

目的	橋梁整備の推進				
指標	橋梁毎の進捗率	目標	65.1%	実績	54.3% (14 年度 54.3%)
説明	「兵庫県南部地震」の被災の教訓から、市街地や主要路線上の老朽橋及び耐荷力の不足している橋梁の耐震、老朽度の調査を進め、的確な工事を実施します。現在実施中の萱生跨線橋は三岐鉄道上にある重要な跨線橋と位置づけ整備促進に努めましたが、工業用水の断水時期が遅れたことにより平成16年度へ繰越しました。				

〔橋梁整備単独事業〕 651,000 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・内山3号線 (内山町地内)	委託料 橋梁測量設計業務	651,000		
・萱生跨線橋 (中村町地内)	〔平成15年度 明許繰越〕			

項3 交通安全対策費

目1 交通安全対策総務費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
174,356,000 円	170,017,456 円		4,338,544 円

〔一般職給〕 6人 57,566,494 円
 〔嘱託職給〕 1人 3,236,506 円

(管理課)

目的	交通安全の啓発				
指標	交通事故件数	目標	11,000 件未満	実績	12,101 件 (14 年中 11,775 件)
説明	平成 15 年中の交通事故は、件数では増加しましたが、死者数は減少し、その死者率は人口 10 万人以上の全国 226 都市のなか、ワースト 74 位から 101 位と平成元年以来ワースト 100 位を脱却することができました。また、安全な交通社会を実現するために、階層別に研修会を実施するなど交通安全教育の推進及び知識の普及に努めました。				

〔交通安全啓発推進費〕 11,157,487 円

< 参 考 > 交通事故発生状況 (県警本部交通統計による。歴年)

区 分	7 年	8 年	9 年	10 年	11 年	12 年	13 年	14 年	15 年
発生件数(件)	11,578	11,891	12,398	11,539	11,686	11,870	12,134	11,775	12,101
人身事故	件数	1,930	1,917	1,902	1,871	2,043	2,187	2,232	2,328
	死者	32	27	25	22	27	26	20	14
	傷者	2,441	2,409	2,412	2,337	2,586	2,762	2,817	3,009
人口 10 万人以上の都市で人口 10 万人当たりの死者数全国順位(位)	18	27	40	50	29	28	61	74	101

目的	放置自転車の撤去				
指標	放置自転車の撤去台数	目標	2,000 台未満	実績	2,068 台 (14 年度 2,089 台)
説明	四日市市自転車等放置防止条例に基づき、放置自転車等の巡視、指導、撤去等を実施するとともに、関係機関等と協力して駐輪マナー等の啓発活動を実施しました。				

〔放置自転車対策事業費〕 37,096,079 円 (その他特財 1,711,342 円)

その他経費

〔違法駐車対策事業費〕 3,066,756 円
 〔四日市市交通安全協議会補助金〕 6,000,000 円
 〔交通災害共済事業特別会計繰出金〕 64,352 円
 〔負担金〕 20,000 円

三四地区交通安全対策協議会

(道路整備課)

〔交通安全施設等管理費〕 51,809,782 円 (その他特財 144,000 円)

目2 交通安全施設整備費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
247,420,000 円	247,420,000 円		0 円

〔明許繰越〕 79,120,000 円

〔交通安全施設整備補助事業〕 71,040,000 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
〔通常事業〕 ・黒田平尾線 (江村町地内)	用地費 A=24.06 m ² 補償費 物件移転補償 1 式 事務費	15,920,000	国庫支出金 市 債	8,756,000 2,800,000
〔臨時交付金〕 ・西新地久保田線(西 浦一丁目及び 二丁目地内)	工事費 L=218.8m W=27.0m 歩道整備工事 事務費	55,120,000	国庫支出金	27,560,000
交通安全施設整備補助事業 計		71,040,000		39,116,000

〔交通安全施設整備単独事業〕 8,080,000 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・西阿倉川万古線 (大字西阿倉川地内)	工事費 L=172.3m W=18.0m 歩道設置工 L=172.3m 付帯工 1 式	8,080,000		

目的	安心して通れる歩行空間づくり				
指標	路線毎の整備目標	目標	黒田平尾線 の供用開始	実績	黒田平尾線の整備完了 (一部取付部分を除く) (14年度 西新地 久保田線の整備完了)
説明	黒田平尾線は通学路として、西新地久保田線はバリアフリー歩道としてそれぞれの整備を行ない、自転車及び歩行者の安全な通行空間づくりを図りました。				

〔交通安全施設整備補助事業〕 50,000,000 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
〔通常事業〕 ・黒田平尾線 (江村町及び 平尾町地内)	工事費 L=478.4m W=10.75m 排水工 L=635.1 m 舗装工 A=3,595 m ² L型擁壁工 L=255.0 m 道路標識設置工 N=2 基	50,000,000	国庫支出金 市 債	27,500,000 9,000,000

	補償費 物件移転補償 1件 中部電力電柱移転 補償 1件 事務費			
--	--	--	--	--

〔交通安全施設整備単独事業〕

118,300,000 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・大治田1号線 (大治田三丁目地内)	工事費 L=125.0m W=7.7m 歩道設置工事	7,779,450		
・川原町2号線外1号線 (川原町地内)	工事費 L=17.0m W=5.5m 交差点改良工事	2,306,850		
・市内一円	委託料 調査設計業務委託他 工事費 歩道整備工 L=267 m 交差点改良工 N=2 箇所 待避所設置工 L=47 m 区画線工 L=23,330 m 防護柵工 L=1,170 m その他交通安全施設 工 1式 補償費 物件移転補償 1件 事務費	108,213,700		
交通安全施設整備単独事業 計		118,300,000		

〔主要路線事業進捗率〕

路線名	事業年度	進捗率
黒田平尾線(自転車歩行者道設置)	平成6年度～平成15年度	100.0%
西新地久保田線(歩道整備)	平成11年度～平成15年度	100.0%

項4 河川費

目1 河川総務費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
106,886,000 円	95,822,037 円	10,395,000 円	668,963 円

〔一般職給〕

4人

35,653,000 円 (県支出金

24,000 円)

(公園・河川課)

〔河川等維持修繕費〕

41,597,756 円

市管理河川・排水路

	河川・排水路数	管理総延長 (m)
市管理河川	9 1	116,303m
うち準用河川	2 3	50,893m
排水路	9 7 0	217,077m

〔河川台帳整備事業費〕 3,111,150 円 (一部平成 1 5 年度明許繰越)

〔樋門管理費〕 2,063,911 円 (国庫支出金 735,366 円)
(県支出金 663,870 円)

〔調整池管理費〕 11,700,150 円

〔負担金〕 692,000 円

・三重県河川海岸協会等負担金

目 2 河川改良費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
370,329,400 円	357,073,592 円	13,094,000 円	161,808 円

〔明許繰越〕

77,614,400 円

〔準用河川改修事業〕

58,050,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・朝明新川 (中村町地内)	工事費 施工延長 L = 12 m 護岸工 (多 自然型ブロッ ク) L = 14.6 m 事務費	12,291,000	国庫支出金 その他特財	4,097,000 6,100,000
・横川 (川島町地内)	工事費 護岸工 (S L = 3.72m 1;05) L = 257.7m 事務費	33,099,000	国庫支出金 その他特財	11,033,000 7,900,000
・米洗川 (八田二丁目)	工事費 護岸工 植生ブ ロック工 A = 116.9 m ² (L = 33.4m) 間知ブ ロック工 A = 29.5 m ² (L = 33.4m) 事務費	12,660,000	国庫支出金 その他特財	4,220,000 6,300,000
準用河川 計		58,050,000		39,650,000

〔半谷川河川改修事業費〕

17,564,400 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・半谷川(中村町及び平津町地内)	工事費 施工延長 L = 135.48m ボック スカルバート布 設工 L = 22.6m プレハブ水路布 設工 L = 45.8m 用地費 一式 事務費	17,564,400	その他特財	17,564,400

〔河川改良事業〕 2,000,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・朝明新川外	工事費 一式	2,000,000		

〔公園・河川課〕

目的	治水事業の推進				
指標	河川整備率	目標	25.5%	実績	25.7% (14年度 25.2%)
説明	治水事業は、市民の生命・財産を守るうえからも最優先に実施しなければならない事業であり、本年度も準用河川改修事業、排水路改良事業等を実施しました。				

〔準用河川改修事業〕 74,400,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・米洗川中流 (別名六丁目及び大字羽津)	工事費 護岸工 植生ブロック工 A = 189.4 m ² (L = 42.1m) 間知ブロック工 A = 37.3 m ² (L = 42.1m) 小口止工 4 箇所 事務費	15,000,000	国庫支出金	5,000,000
・朝明新川 (中村町地内)	工事費 施工延長 L = 30m 護岸工(多自然型ブ ロック積) L = 9.8m ゴム引布製起伏堰設 備工 1基 揚水ポンプ設備工 操作室上屋建築工事 ゴム引布製起伏堰 (下部工) 1基 魚道工 1ヶ所 集水枘工 1ヶ所 用地費 1式 補償費 物件移転補償 1件 事務費 (一部15年度明許繰越)	50,400,000	国庫支出金 市 債	16,800,000 25,200,000

・古城川 (中野町)	工事費 護岸工植生ブロック積工 A = 102 m ² (L = 46.5m) 間知ブロック積工 A = 51 m ² (L = 46.5m) 事務費	9,000,000	国庫支出金 市 債	3,000,000 4,500,000
準用河川改修事業計		74,400,000		54,500,000

〔都市基盤河川改修事業費〕 12,000,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・足見川 (西山町地内)	工事費 総施工延長 L = 54.7m 護岸 3 型工 L = 22.53m 取付工 L = 0.3m 事務費	12,000,000	国庫支出金 市 債 その他特財	4,000,000 3,600,000 4,000,000

〔半谷川河川改修事業費〕 10,025,767 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・半谷川 (中村町及び平津町地内)	委託料 測量設計業務一式 工事費 根固工 L = 47.1 m 材料支給 B 型柵版外	10,025,767		

〔排水対策事業費〕 24,523,674 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・十四川 (大字茂福地内)	委託料 測量設計業務一式 工事費 嵩上げ 628.6m 他 材料購入 転落防止柵外	24,523,674		

〔土砂災害情報システム整備事業費〕 1,638,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・土砂災害情報相互システム整備事業	委託料 危険区域図作成一式 事務費	1,638,000	県支出金	1,638,000

〔高速道路関連事業費〕 24,795,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・千代田町排水路改良 (千代田町地内)	工事費 ボックスカルバート工 L = 219.6m 集水柵工五ヶ所 事務費	24,795,000	県支出金	8,265,000

〔河川市単独事業費〕

119,094,751 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・河川改良事業 市内一円	委託費 一式 工事費 一式 補償費 一式 用地費	62,042,802		
・排水路改良事業 市内一円	委託費 一式 工事費 一式	48,244,036		
	市単独事務費	8,807,913		
河川市単独事業 計		119,094,751		

〔県営事業負担金〕

12,782,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
環境整備 三滝川	負担金	2,400,000		
〔補助〕 急傾斜地 西日野地区 川島3地区	負担金	6,382,000	市債	5,700,000
〔単独〕 急傾斜地 東日野地区・東坂 部地区	負担金	4,000,000		
県営事業負担金 計		12,782,000		5,700,000

項5 港湾費

目1 港湾総務費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,527,827,000 円	1,527,222,118 円		604,882 円

目的	四日市港管理組合と連携を図る。				
指標	港の経済効果	目標	7,117 億円 (平成 22 年度)	実績	関連純生産額 5,584 億円 (平成 12 年度)
説明	四日市港では中枢国際港湾として一層の機能向上を図るため、霞ヶ浦地区に国際海上コンテナターミナル - 14m 岸壁及び泊地の整備など外貿機能の強化を推進するとともに、海上人命安全国際条約に対応するため保安対策施設の整備を進めました。また、内貿岸壁の整備や運河地区水門の改良、護岸の補強など安全対策に取り組みました。さらに、富双地区について緑地・親水空間の整備を実施しました。				

〔一般職給〕 2 人 22,360,142 円

〔港湾事務費〕 365,645 円

〔四日市港管理組合負担金〕(特別負担金 19,511,470 円含む)

1,503,992,470 円

〔三重県港湾協会負担金〕 350,000 円

〔港湾都市協議会等負担金〕 161,000 円

項6 都市計画費
目1 都市計画総務費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
274,555,000 円	267,475,133 円		7,079,867 円

(都市計画課)

〔明許繰越〕

16,800,000 円

〔都市計画基本図修正事業〕

16,800,000 円

〔一般職給〕 16人

139,551,703 円

〔県支出金 399,000 円
その他特財 6,138,557 円〕

(都市計画課)

目的	市街地の土地利用を行う				
指標	条例制定	目標	市街化調整区域建築 形態制限条例制定	実績	平成16年4月1日制定 (14年度 -)
説明	平成12年の都市計画法改正に伴い、市街化調整区域の建築形態制限(建ぺい率、容積率等)の指標を地域の実情に合わせて設定することが可能となり、本市では良好な生活環境の維持・創出を図るため、建ぺい率70%、容積率400%から、建ぺい率60%、容積率200%(一般地区)に変更を行いました。また、三重県が事業主体となる近鉄名古屋線川原町駅付近連続立体交差事業の整備効果について検討を行い、事業促進を図りました。				

〔委員報酬〕

162,000 円

・都市計画審議会委員 15人

〔都市計画マスタープラン事業費〕

1,995,000 円

〔都市計画策定費〕

6,468,000 円

〔都市計画基本図修正事業〕

16,798,950 円

〔都市計画情報提供事業費〕

113,400 円

目的	市民と協働のまちづくりをする				
指標	まちづくり活動 団体数	目標	37 団体 (18年度までに)	実績	35 団体 (14年度 32 団体)
説明	まちづくり市民活動の啓発については5地区でのべ8回の説明会を行いました。また、本町通り周辺の住みやすい環境づくりを行うため、住民、行政、大学の3者が協働してまちづくり会議を3回開催し、16年度以降のまちづくり団体立ち上げにつなげました。また、都心居住については、街づくり協議会を立ち上げまちなか居住促進の足がかりを築きました。				

〔まちづくり活動支援事業費〕

1,131,990 円

〔誘導整備地区等共同化推進事業〕

1,000,000 円

その他経費

〔負担金〕

・都市計画協会負担金

240,000 円

・三重県都市計画協会等負担金

754,000 円

(建築開発課)

〔委員報酬〕

127,400 円 (その他特財 127,400 円)

・開発審査会委員 7人

〔全国開発指導行政等推進・連絡協議会等負担金〕

188,877 円

開発行為の許可申請件数(都市計画法第29条)	87件 (101件)
完了検査件数	89件 (130件)

(管理課)

〔ふれあいモール維持管理費〕	5,964,311円 (その他特財 2,835,226円)
〔駐車場案内システム管理運営費〕	13,569,843円
〔近鉄高架下土地管理費〕	51,751,443円 (その他特財 21,488,867円)

目2 土地区画整理費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,293,043,000円	1,293,043,000円		0円

一般会計から土地区画整理事業特別会計に繰り出しました。(都市計画税充当額 176,437,000円)

目3 街路事業費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,928,875,000円	1,916,971,354円	11,900,000円	3,646円

目的	幹線街路及び市内幹線道路の整備				
指標	4路線の整備率	目標	74%	実績	79% (14年度 66%)
説明	快適な市民生活並びに円滑な経済活動が行なえるよう、市内の道路ネットワークを体系的に構築するため、幹線街路の整備に努めました。				

〔街路補助事業費〕 1,004,000,000円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
〔通常事業〕 ・堀木日永線 (日永西一丁目他地内)	工事費 橋梁上部工 L = 24.6 m W = 17.8 m 主桁架設工 N = 23本 事務費	16,000,000	国庫支出金 市債 都市計画税	8,000,000 4,400,000 3,400,000
・赤堀山城線 (本郷町他地内)	工事費 橋梁上部工 L = 120.2 m W = 19.55 m 主桁架設工 N = 24本 橋面舗装工 A = 1,370 m ² 既設桁補強工 一式 事務費	14,000,000	国庫支出金 市債 都市計画税	7,000,000 3,800,000 3,000,000

・赤堀山城線（堀木橋） （西浦二丁目他地内）	工事費 橋梁上部工 L = 108.2 m W = 23.8 m 主桁購入・架設工 PCプレテン和桁 N=2 本 PCボルト桁 N=2 本 橋面舗装工 A = 1,600 m ² 既設桁補強工 一式 事務費	18,000,000	国庫支出金 市 債 都市計画税	9,000,000 4,900,000 3,800,000
・千歳町小生線 （城東町地内）	用地費 A = 180.20 m ² 事務費	24,000,000	国庫支出金 市 債 都市計画税	12,000,000 6,600,000 5,000,000
	通常事業 計	72,000,000		70,900,000
〔臨時交付金〕 ・堀木日永線 （日永西一丁目他地内）	工事費 橋梁上部工 L = 24.6 m W = 17.8 m 主桁架設工 N = 23 本 道路改築工 L = 480 m W = 16.0 m 舗装工、排水工、橋面 工、道路付属施設工、 付帯工 1 式 用地費 A = 210.36 m ² 補償費 物件移転補償 事務費	194,100,000	国庫支出金 市 債	106,755,000 87,300,000
・赤堀山城線 （本郷町他地内）	工事費 橋梁上部工 L = 120.2 m W = 19.55 m 主桁架設工 N = 24 本 橋面舗装工 A = 1,370 m ² 既設桁補強工 一式 道路改築工 L = 275 m W = 18.0 m 排水工、舗装工 一式 事務費	262,000,000	国庫支出金 市 債	144,100,000 117,900,000

・赤堀山城線（堀木橋） （西浦二丁目他地内）	工事費 橋梁上部工 L = 108.2 m W = 23.8 m 主桁購入・架設工 PC [°] レ [°] テ [°] 和 [°] -桁 N=2 本 PC [°] ス [°] テ [°] T [°] 桁 N=2 本 橋面舗装工 A = 1,600 m ² 既設桁補強工 一式 事務費	212,900,000	国庫支出金 市 債	117,095,000 95,800,000
	・千歳町小生線 （城東町地内）	委託料 建物調査業務 16 件 用地費 A = 1,393.38 m ² 補償費 物件移転補償 6 件 事務費	263,000,000	国庫支出金 市 債
臨時交付金事業 計		932,000,000		931,900,000
街路補助事業 計		1,004,000,000		1,002,800,000

〔地方特定道路整備事業費〕

477,600,000 円

事業区分 （施行箇所）	事業内容	実施額	うち特定財源	
〔地方特定道路〕 ・阿倉川西富田線 〔阿倉川工区〕 （大字西阿倉川地内）	委託料 建物調査業務 用地測量業務 設計業務 工事費 道路改築工 L = 430 m W = 16.0 m 舗装工 A = 6,406 m ² 排水工、擁壁工 一式 用地費 A = 922.56 m ² 補償費 物件移転補償 事務費	301,500,000	市 債 都市計画税	271,400,000 28,100,000
・堀木日永線 （日永西一丁目他地内）	工事費 道路改築工 L = 480 m W = 16.0 m 舗装工、排水工、橋面 工、道路付属施設工、 付帯工 1 式 用地費 A = 773.97 m ² 事務費 〔一部平成 15 年度 明許繰越〕	135,600,000	市 債 都市計画税	122,000,000 12,700,000

・千歳町小生線 (城東町地内)	委託料 建物調査業務 5件 埋蔵文化財発掘調査 業務 1箇所 工事費 側溝工 L = 60 m 用地費 A = 110.97 m ² 補償費 物件移転補償 2件	40,500,000	市 債 都市計画税	36,400,000 3,939,000
地方特定道路整備事業 計		477,600,000		474,539,000

〔街路単独事業費〕

159,654,195 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
〔街路単独事業〕 ・千歳町小生線 ・堀木日永線 ・赤堀山城線 ・阿倉川西富田線 ・環状1号線 ・三畑四日市線	委託料 設計業務委託 調査業務委託 環境整備委託 工事費 環境整備工事 除草 A = 27,107 m ² 付帯工事 一式 用地費 A = 14.03 m ² 補償費 物件移転補償 事務費 (一部平成15年度 明許線越)	159,654,195	市 債	121,200,000

〔県営事業負担金〕

269,016,666 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
〔公共〕 ・富田山城線 外1線	負担金	225,000,000	市 債	102,500,000
〔単独〕 ・富田山城線 外1線	負担金	44,016,666	市 債	39,400,000
県営事業負担金 計		269,016,666		141,900,000

〔公社健全化事業費〕

6,700,493 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源
・堀木日永線	用地費 特別会計繰出金	3,235,280	
・阿倉川西富田線	用地費 特別会計繰出金	125,800	
・赤堀山城線	用地費 特別会計繰出金	589,040	
・環状1号線	用地費 特別会計繰出金	1,693,120	
・富田本町線	用地費 特別会計繰出金	1,057,253	
公社健全化事業 計		6,700,493	

(主要路線進捗率)

路線名	事業年度	進捗率
堀木日永線	平成 8年度～平成 16年度	93.7%
赤堀山城線	平成 9年度～平成 15年度	100%
赤堀山城線(堀木橋)	平成 13年度～平成 15年度	100%
千歳町小生線	平成 14年度～平成 20年度	18.9%
阿倉川西富田線	平成 8年度～平成 17年度	84.5%

目4 公園管理費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
517,508,000 円	507,649,021 円		9,858,979 円

(公園・河川課)

〔明許繰越〕

18,000,000 円

〔公園施設維持補修費〕

18,000,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源
泊山公園法面補強工事	工事費 ブロック積 93.6 m ² 落石防止工 52.2m	18,000,000	

〔一般職給〕

10人

96,785,000 円

(都市計画課)

目的	市民の手による緑化の推進				
指標	緑化事業参加団体数	目標	30団体	実績	27団体 (14年度 26団体)
説明	花と緑いっぱい事業補助金については、27団体に補助を行い、そのうち10団体が新規取組団体です。民有地苗木交付制度については、年に1回だけの交付で、市民にとって使いにくい制度であることや、道路後退に際しての生垣転換助成制度と類似の制度であるため、15年度中に制度の改善を検討し、16年度から両制度を一本化してわかりやすく効率的な制度に移行することとしました。				

〔花と緑いっぱい事業費〕

7,647,238 円 (その他特財 6,689,172 円)

〔民有地苗木交付事業〕 180,812 円 (その他特財 180,812 円)
 〔緑化基金積立金〕 2,619,299 円 (その他特財 1,019,299 円)

その他経費

〔負担金〕 50,000 円
 ・都市緑化基金等連絡協議会 30,000 円
 ・三重県緑化推進協会 20,000 円

(公園・河川課)

目的	公園愛護活動の推進				
指標	公園愛護会設置率	目標	71%	実績	77.7% (14年度 70.6%)
説明	公園ボランティア団体の活動支援のため清掃用具等の支給を行い、維持管理のための効果的な予算の執行に努めました。また、中央緑地の苗圃において花苗を育成し、公園や街路を四季の花で飾り、より変化のある景観づくりに努めました。さらに、新規事業として南部丘陵公園内のバラ園のボランティアを募り 32 人の参加者を得ることができました。				

〔公園愛護会育成費〕 1,066,960 円
 〔花と緑いっぱい事業費〕 1,787,214 円 (その他特財 1,787,214 円)

目的	公園及び街路樹の適正な維持管理				
指標	施設のハザード除去 (苦情情報に基づく)	目標	460 件	実績	451 件 (14年度 420 件)
説明	安全で快適な公園の維持管理及び街路樹の健全な育成と景観向上に努めました。				

〔公園施設管理費〕 345,162,363 円 (その他特財 3,954,165 円)
 〔公園施設安全対策費〕 3,570,000 円
 〔公園施設維持補修費〕 27,610,769 円

その他経費

〔公園緑地協会負担金〕 110,000 円

種別	開設箇所	開設面積	備考
公園緑地	340	268.3ha	うち街区公園 282箇所
街路樹	46路線	約 10,000本	四日市中央線 金場新正線 四日市西町線 外

目5 公園建設費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
554,913,000 円	547,405,034 円		7,507,966 円

目的	公園及び緑地事業の推進				
指標	市民 1 人当たりの供用面積	目標	9.2 m ² /人	実績	9.021 m ² /人 (14年度 9.017 m ² /人)
説明	南部丘陵公園南ゾーンにおける基盤整備を推進し、早期の供用開始を図ると共に、バスや障害者対応の駐車場を増設し利用者の利便性向上に努めました。				

〔公園緑地整備補助事業費〕 54,000,000 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
南部丘陵公園整備事業 (西日野町外地内)	工事費・調整池整備工 ・照明灯設置工 ・修景施設設置工 事務費	54,000,000	国庫支出金 市債	27,000,000 20,200,000

〔都市公園等一体整備促進事業費〕

54,027,750 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
南部丘陵公園整備事業 (西日野町外地内)	工事費・駐車場整備工 ・給水管設置工 ・管理ハウス設置工 負担金・給水分担金	54,027,750	市債	40,500,000

〔街区公園等整備事業費〕

85,486,525 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
赤堀公園整備事業費 (赤堀二丁目地内)	工事費 公園灯1基設置 遊具3基・フェンス設置外 用地費 委託費 測量登記業務	83,953,525	市債	62,900,000
富田中公園整備事業費 (富田三丁目地内)	委託費 ワークショップ企画 運営業務委託	1,533,000		
街区公園等整備事業費		85,486,525		62,900,000

〔公園緑地整備単独事業費〕

325,756,980 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
坂部が丘中央公園整備 工事(坂部が丘三丁目 地内)	工事費・砂場・遊具2基設置 砕石舗装 600 m ² 出入口改良5箇所	3,508,050	都市計画税	77,569,000
四ツ谷公園整備工事 (元新町地内)	工事費・ブロック積工 L = 68m ・低木植栽工 1000 株	2,553,600		
富田一色海浜緑地整備 (富田一色町地内)	工事費・便所設置1棟 ・広場整備・遊具一式	4,490,850		
市内一円の公園緑地	工事費 委託費・調査設計	29,133,780		
大気汚染対策緑地償還 金	羽津山緑地事業費償還 金	270,360,060		
北勢中央公園建設負担 金	県公共事業費負担金 県単独事業費負担金	11,500,000		
上水道受益者負担金		105,000		
市単独事務費		4,105,640		
公園緑地整備単独事業費 計		325,756,980		77,569,000

〔緑帯沿道整備事業費〕

16,593,170 円

事業区分 (施工箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
緑帯沿道整備事業	花壇植栽委託 5箇所 花壇整備工 午起末永線 街路樹種轉換 街路樹管理	16,593,170		

〔公社健全化事業費〕

11,540,609 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・富田中公園用地取得事業費	特別会計繰出金	1,232,772		
・南部丘陵公園用地取得事業費	特別会計繰出金	10,307,837		
公社健全化事業 計		11,540,609		

項7 下水道費

目1 下水道整備費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,386,386,000 円	8,386,386,000 円		0 円

一般会計から公営企業下水道事業会計に支出しました。(都市計画税充当額 1,619,314,544 円)

〔負担金〕

・下水道雨水処理費 5,431,127,000 円

〔補助金〕

2,955,259,000 円

・下水道汚水処理費基準内 907,571,000 円

・下水道汚水処理費基準外 2,047,688,000 円

項8 住宅費

目1 住宅管理費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
705,597,000 円	689,042,029 円		16,554,971 円

(都市計画課)

〔明許繰越〕

46,491,000 円

〔特定優良賃貸住宅供給促進事業費〕

46,491,000 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
建設費補助 (センチュリー山城)	1団地 16戸の新規供給	46,491,000	国庫支出金 23,245,000 県支出金 11,620,000	

〔一般職給〕

11 人

90,785,308 円 (国庫支出金 82,500 円)

(その他特財 90,620,308 円)

(都市計画課)

目的	快適な住環境の整備を進める				
指標	特定優良賃貸住宅供給累積戸数	目標	260 戸	実績	174 戸 (14 年度 160 戸)
説明	特定優良賃貸住宅の総管理戸数 174 戸 (うち新規 16 戸) のうち 75 戸を対象に家賃の一部に対する補助と、総管理団地数 7 団地のうち 3 団地に対して、住宅金融公庫からの借入利子に対する利子補給補助を行いました。また、融資制度については、制度発足後、年間 30 件程度の貸付けを行ってきましたが、金融機関の戦略的な低金利住宅融資により、本年度の新規貸付は 1 件 3,700 千円にとどまりました。				

〔住宅整備資金融資貸付金〕

243,732,000 円

事業区分	事業内容	実施額	うち特定財源	
勤労者住宅支援資金	新規貸付件数 1 件	219,341,000	その他特財	243,732,000
勤労者持家促進資金	協調期間中 (平成 17 年度まで)	19,793,000		
勤労者住宅取得資金	協調期間中 (平成 17 年度まで)	4,598,000		
住宅整備資金融資貸付金 計		243,732,000		243,732,000

〔特定優良賃貸住宅供給促進事業費〕

18,696,853 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
家賃対策補助 (プラーズ西浦外 5 団地)	対象戸数 75 戸	8,484,853	国庫支出金	4,029,000
			県支出金	1,970,000
建設費利子補給 (レジンスロック・フェア外 2 団地)	補助金	10,212,000	県支出金	5,106,000
特定優良賃貸住宅供給促進事業費 計		18,696,853		11,105,000

〔住情報提供推進事業費〕

294,000 円

(市営住宅課)

目的	管理者による修繕費用負担				
指標	適正な修繕費用	目標	250,000 千円/年 以内	実績	237,838 千円 (14 年度 218,906 千円)
説明	公営住宅として、その目的に沿って適正かつ合理的な維持管理に努め、維持修繕については、費用負担区分上、事業主体の管理責任に属するものは、迅速に対処することにより入居者の便宜に供しました。				

〔市営住宅維持補修費〕

159,468,473 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・一般修繕 (三重団地外 1499 件)	需用費・役務費・委託料	84,310,455	国庫支出金 その他特財	30,532,000 128,936,473
・空家修繕 (三重団地外 225 件)	需用費	69,808,422		
・市内一円	委託料(保守点検、耐震診断) 役務費(保険料)・原材料費	5,349,596		
維持補修費 計		159,468,473		159,468,473

〔市営住宅整備事業費〕 78,369,440 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・サッシ改良工事 (あさけが丘団地)	工事請負費	14,280,000	その他特財	14,280,000
・電気容量改良工事 (あさけが丘団地)	工事請負費	13,650,000	国庫支出金	6,673,000
・屋根葺替工事 (坂部が丘団地外)	工事請負費	30,280,950	その他特財	30,280,950
・火災復旧工事 (三重団地)	工事請負費	4,272,450		
・CTY導入負担金 (高花平団地外)	負担金	4,011,000	その他特財	4,011,000
・下水道受益者負担金 (茂福団地)	負担金	585,440	その他特財	585,440
・市内一円	工事請負費	11,289,600	その他特財	11,289,600
整備事業費 計		78,369,440		67,119,990

目的	市営住宅のバリアフリー化				
指標	高齢者・障害者対応 住宅供給戸数	目標	267 戸 (18 年度)	実績	131 戸 (14 年度 127 戸)
説明	高齢者対応住宅を 4 戸、車椅子対応住宅を 1 戸、既存住宅を改善し供給しました。また、単身高齢者の募集枠を 11 戸確保しました。				

〔高齢者・障害者向け改善事業費〕 12,418,350 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・高齢者・障害者向け 改善工事 (三重団地外)	工事請負費 高齢者向 4 戸 障害者向 1 戸	12,418,350	国庫支出金	3,893,000

目的	市営住宅使用料の滞納整理
----	--------------

指標	現年度収納率	目標	89.90% (16年度)	実績	85.70% (14年度 87.06%)
説明	家賃滞納問題については、入居者が低額所得者であるという実情を考慮し、個々の状況を勘案しながら納付指導を行うとともに、その徴収に当たっては督促・呼び出し・訪宅等の方法をもって厳しく対処し、誠意のみられない者については明渡し請求等の法的措置(14年度訴訟5件の内、3件を執行)及び訴訟(3件)を行いました。 市営住宅家賃の収納率は現年度分 85.70%、過年度分は7.99%でした。				

〔弁護士報酬〕 訴訟手続費用 388,000円 (その他特財 388,000円)

目的	市営住宅の適正な入居管理				
指標	入居者実態調査件数	目標	前年度比10%増	実績	120件 (14年度 120件)
説明	入居者の公募は、住宅困窮者へ公平かつ効率的に提供することを基本に、三重団地等を対象として年3回の定期募集により63戸(応募倍率9.48倍)、緊急度の高い希望者に対しては、高花平団地等での随時募集により28戸の入居措置を実施しました。 適正な入居を維持するため、現地調査・指導を必要に応じて行いました。 毎年入居者の収入状況を把握するとともに、応能応益家賃の設定・徴収等を実施して入居管理の適正化に努めました。 全高額所得者に対し退去指導を行いました。				

〔委員報酬〕 121,500円 (その他特財 121,500円)

・市営住宅入居者選考委員会委員 8人

〔管理人報酬〕 3,884,580円 (その他特財 3,884,580円)

〔負担金〕 日本住宅協会 16,500円 (その他特財 16,500円)

その他経費

〔市営住宅整備基金積立金〕 10,706円 (その他特財 10,706円)

(平成9年12月設置 本年度末現在高 107,354,244円)

〔住宅新築資金等貸付事業特別会計繰出金〕 24,797,000円

目2 住宅建設費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
12,400,000円	10,103,133円		2,296,867円

目的	PFI的手法による市営住宅の建設				
指標	市営住宅建替戸数	目標	120戸 (18年度)	実績	0戸 (14年度 0戸)
説明	大瀬古新町団地におけるPFI的手法による市営住宅建替事業の一環として、本年度は優先交渉権者の決定及び基本協定の締結についてアドバイザー契約をしたコンサルタントの助言のもと実施し、仮移転者の移転後、1期工区の住宅(80戸)の建設に着手いたしました。 なお、1期工区の住宅には平成16年12月頃に現大瀬古新町団地入居者及び永宮町団地の約半数世帯が入居し、2期工区の住宅(40戸)は平成18年1月頃に管理開始の予定です。				

〔大瀬古新町市営住宅建設事業費〕

10,103,133円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・PFI 的 事業アドバイザー業務	委託料 事務費	3,675,000		
・一部入居者の仮移転	補償補填及び賠償金 事務費	6,428,133	国庫支出金	2,085,500
大瀬古新町市営住宅建設事業費 計		10,103,133		2,085,500